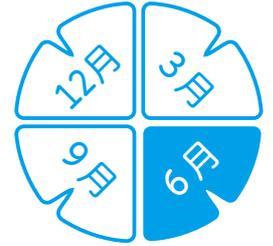


てんり市議会だより

今回の定例会

# まほるば



2018年9月1日号 No.85 6月定例会の内容をお伝えします。

※題字については、第60回天理市展において議会議長賞を受賞された西田理恵さんにお書きいただきました。

## CONTENTS

TOPIX ~特集~	2
こんなことを話しました	3
こんなことを質問しました	10
こんなことが決まりました	13
議会活動報告	14



去る6月27日、長野県入善町議会産業教育常任委員会の皆様  
が本市産業振興館へ行政視察に訪れました。大橋議長より歓迎  
挨拶の後、所管課より説明と現場見学を行いました。その他、  
行政視察受入状況については、2Pトピックスをご覧ください。

# TOPIX

## 特 集

### ようこそ天理市へ！

### ～行政視察受け入れ状況～

全国各市では、議会運営や行政施策などの見識を深めるため、先進地を訪問する行政視察が行われております。

本市でも、今年度に入ってから9月までに、下記の市区町議会からの行政視察を受け入れました。



視察日	団体名	視察テーマ
5月17日	大阪府 大東市議会 清新会（会派）	天理駅前広場コフファンについて
6月27日	富山県 入善町議会 産業教育常任委員会	産業振興館の取り組み(テレワーク)について
7月5日	長野県 岡谷市議会 産業建設委員会	産業振興館の取り組み(テレワーク)について
7月11日	京都府 木津川市 さくら会（会派）	議員定数の削減に係る経過等について
7月12日	東京都 杉並区議会 杉並区議会自由民主党（会派）	SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)による認知症施策における官民連携事業について



### 産業振興館（テレワークセンター）ってなあに??

本通り商店街の空き店舗を活用し、平成28年3月にオープンした施設で、場所にとらわれない柔軟な働き方ができる「テレワーク」と、地域の交流の場である「交流サロン」を併設しています。

### テレワークで何が変わるの？

ICT（情報通信技術）を活用した働き方で、次のようなことが期待されます。

- 通勤時間削減により、肉体的負担と環境負荷の軽減
- 仕事の生産性・効率性の向上
- 育児・介護との両立による就労の確保（ワーク・ライフバランスの向上）
- 女性・障がい者・高齢者などの雇用機会拡大





## 平成30年6月定例会

# こんなことを話し合いました

開会日(6月8日)  
市長提案

### ●会期の決定

会期を6月25日までの18日間と決定しました。

### ●表彰状の伝達

全国市議会議長会において、左記のとおり表彰されたので、表彰状及び記念品の伝達を行いました。

- 20年以上の在職議員  
今西康世 議員
- 15年以上の在職議員  
東田匡弘 議員  
大橋基之 議員

### ●監査報告

監査委員より7件の監査報告がありました。

### ●報告

報告5件が上程され、原案どおり了承しました。

### ●提案説明

今議会に提出された7議案について、市長より提案説明が行われました。

再開日(6月12日)  
委員会付託

### ●委員会付託

上程された7議案のうち、4議案を文教厚生委員会に、1議案を経済産業委員会に、2議案を総務財政委員会に付託して審査することとなりました。

### ●文教厚生委員会

● 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
ほか 計4議案を付託

### ●経済産業委員会

● ラブホテル建築等規制条例の一部改正  
計1議案を付託

### ●総務財政委員会

● 一般会計補正予算  
ほか 計2議案を付託

※委員会審査の概要については、4～9Pに掲載しています。

再開日(6月19・20日)  
一般質問

### ●一般質問

- 荻原 文明 議員
- 仲西 敏 議員
- 寺井 正則 議員
- 鳥山 淳一 議員
- 今西 康世 議員
- 市本 貴志 議員

※10～13Pに要旨を掲載しています。



最終日(6月22日)  
採決

### ●人事案件

天理市公平委員会の委員の選任の同意案が上程され、原案どおり同意しました。

### ●委員長報告

所管委員会に付託されていた7議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

### ●採決

7議案について、いずれも原案どおり可決しました。

### ●意見書

意見書1件について、提案者の説明後、原案どおり可決しました。

### ●発議案

発議案について、提案者の説明があり、荻原議員からの反対討論の後、採決の結果、賛成多数により、原案どおり可決しました。

※議決結果については、13Pに掲載しています。

# 文教厚生委員会

6月13日

## 付託議案の審査概要

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について



放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件の拡大及び教諭資格規定の明確化を図るため、所要の改正をしようとするもの。

重度心身障害老人等医療費助成条例の一部改正について



高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、助成要件に係る規定等について、所要の改正をしようとするもの。

介護保険条例の一部改正について



介護保険法施行令の一部改正に伴い、介護保険料の算定に係る特別控除額に関する同令の引用条項について、所要の改正をし、平成30年8月1日から施行しようとするもの。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

介護保険法施行規則等の一部改正に伴い、事業者の指定について、複合型サービスに限り、病床を有する診療所を開設している者を、法人でなくても指定できるように改め、訪問看護員等について、介護保険法施行規則に定める介護職員初任者研修課程を修了したものに限り、所要の改正をしようとするもの。

詳細は

天理市のホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください



## その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

### ●寺井委員長

**Q** 学校において心肺蘇生とAEDに関する教育を普及促進する考えは。

**A** 今後、児童・生徒に対してAEDの使用を含む心肺蘇生教育を消防署等の関連機関と連携しながら検討したい。

(まなび推進課長)

**Q** 登下校の安全対策について、現状どのように取り組まれているのか。

**A** 教育総合センターでは青色パトロールを下校時間帯に合わせて実施している。また、学校から不審者情報が寄せられた場合は、その地域に向けて特別巡回を行っている。その他、各地域での見守り活動や付き添い下校等、少年指導員をはじめ、諸団体の方々とも連携しながら、今後とも見守り活動を続けていきたい。

(教育総合センター所長)

**Q** 福祉タクシー利用券と合わせて、自動車燃料費助成券

の発行や介護タクシーの利用券として活用できないか。

**A** 燃料費助成券についてはどれだけの方が希望していただけるのか実態を調査していきたい。介護タクシーの利用は、近畿運輸局の許可を得て天理市と福祉タクシーの契約をすれば、使っていただける。現時点でも天理市内で3社ほど、市外でも10社程度契約をしている。

(社会福祉課長)

### ●仲西敏副委員長

**Q** 小規模保育事業の3歳児への繋ぎの対策は。

**A** 3歳児以上は、公立幼稚園の長時間延長預かり保育を活用する。

(児童福祉課長)

**Q** 幼稚園教職員の本務は教育であり、預かり保育も教育の延長で学びの活動だと考えるが、見解は。

**A** 幼稚園は遊びを通して気づきや学びがあり、教育と考

える。

(教育長)

**Q** 地区民生委員協議会の区域は、住民の生活圏域の小学校区であるべきと考える。しかし、二階堂地区民事協は旧二階堂村の3小学校区にまたがっているが、今後の方向性は。

**A** 市として事情も踏まえ、民生委員協議会と相談し、要望を上げて県と協議する。

(健康福祉部長)

### ●東田委員

**Q** 柳本幼稚園の送迎駐車場を借りているが、雨の日は水溜りができ、通園に苦労している。教育委員会は把握しているのか。

**A** 先般現場確認をして、入口付近のわだちの状況を確認したので、対応を検討している。

(教委事務局次長)

**要望** 早く整地していただくようお願いしたい。

**Q** 公立保育所での使用済紙おむつの持ち帰りについて。

**A** 大便については園で処分している。小便是、かなり量がでるが、週2回しか回収がなく、保管スペースも必要になるので、持ち帰りいただいている。

(児童福祉課長)

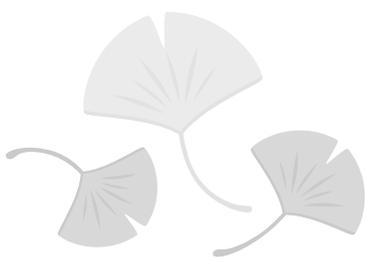
**要望** 保育所で集め、環境クリーンセンターへ持っていただく計画を立ててもらいたい。

### ●石津委員

**Q** 文化センターの音響機器の具合が悪く、早急に点検をお願いしたい。

**A** 長期にわたり使われている機器なので、今後も具合が悪ければ、入れ替えも検討する。

(文化振興課付課長)



# 経済産業委員会

6月14日

詳細は

天理市の  
ホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

付託議案の審査概要

報告事項

ラブホテル建築等規制条例の一部改正について

旅館業法の一部改正に伴い、旅館業の定義の変更等について、所要の改正をしようとするもの。



チャレンジシップ事業について

創業を希望される方に対して、実際にお店を構える前に一定期間試験的に出店することで創業につながりやすい環境をつくること、また商工会と連携し、創業支援セミナーの卒業生がチャレンジショップを経験して、その間に商工会からさまざまなアドバイスを受けながら市内で独立することで、空き店舗対策にもつながっていく仕組みを作ることを目的とした事業。

【キャビンクルー】

【ジャムキッチンタータン】



JR天理駅構内の天理ステーションストアの一角に7月7日よりオープンしています。



## 議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。  
市政への知識を深めることや議会の活動、市の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。  
また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問合わせください。  
なお、本会議のライブ中継及び録画中継は天理市のホームページからご覧いただけますのでご活用ください。

●問い合わせ 議会事務局

63-1001 内線603

## その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

### ●榎堀委員長

**Q** 国際芸術家村の完成をにらんで、駅前からルート等を整備しながら、様々な方々に歩いていただいて活性化につなげようという考えがあるが、観光・産業の振興等のためには、地元や各種団体の方々を含めてプロジェクトチームを立ち上げて議論する必要がある。駅前から離れるにつれてにぎわいが想像しにくくなっているが、拠点整備も含めてどのように考えているか。

**A** 芸術家村の開村は平成33年に予定されている。駅前から芸術家村までのルート設定等、にぎわいを増すような取り組みを考え、動き始めていくところである。(理事)

### ●中西一喜副委員長

**Q** 生産緑地の解除について。

**A** 本市の生産緑地は、63・14ヘクタールで36カ所、1180筆あり、地権者は360人。

告知決定から30年で解除されることになっている。

(まちづくり計画課長)

**Q** それは自動的に解除されるのか。

**A** 土地所有者の申し出が必要。放っておくと存続され、制限はかかるものの、税金・固定資産税は、段階的に上がっていくことになるので、事前に選択していただく必要がある。(まちづくり計画課長)

**Q** 市街化区域の発展に伴うことなので、事前案内も含め、適切な対応をお願いしたい。

**A** 町から町へ、ホームページに掲載する予定。

(まちづくり計画課長)

### ●廣井委員

**Q** 市内(市街化区域、調整区域)にある耕作放棄地の面積とその対策は。

**A** 農地利用状況調査で、昨

年は13・05ヘクタール放棄地があり、改めて活用すべき農

地か否か判断し、活用すべき農地は中間管理機構と連携し、貸付を進め、否とした農地は県の非農地判断マニュアル等により非農地化を進める。

(農委事務局長)

**Q** 太陽光発電の設置に市として税制面の優遇はないのか。

**A** 太陽光発電設置転用は市街化区域は、自由に転用できるが、土地の登記地目は雑種地となり、課税も上がる。調整区域での転用は県の許可が必要である。(農委事務局長)

### ●今西委員

**Q** 市民団体参加型の太陽光発電を全国初で生駒市が実施

住み続ける意識が高まり環境面等の効果大。本市での太陽光発電はどうか。

**A** 本市では厳しいと考える。

(環境政策課長)

**Q** 本市の観光に対する考え方は。また民泊の楽しみが高まってきているが、民泊につ

いてどう考えるか。

**A** 天理ブランドイメージを広く普及。心もてなしも大事。民泊事業者に対し、アプローチや、観光パンフ等の設置等働きかける。

(産業振興課長)

**要望** 国際芸術家村もできる

ので、この分野に力を入れることは大切。知恵、アイデアを絞り前向きに進めてほしい。

### ●内田委員

**Q** 鳥獣集中捕獲について、

昨年度の実績は。

**A** イノシシが127頭、鹿が19頭、アライグマが70頭、鳥類が33羽。今年度は新たな効果促進を目指し、1回目は繁殖前の5月から6月にかけて、杣之内町木堂、園原町、乙木町、竹之内町、渋谷町で集中捕獲を実施した。2回目は、福住町を中心に秋に予定。今後も猟友会の協力を得て獣害対策を進めていく。(農林課長)

# 総務財政委員会

6月15日

## 付託議案の審査概要

### 平成30年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4973万7千円を追加。

#### ○歳出の主な内容

- ・地方創生拠点整備交付金事業としてJR柳本駅舎改修の整備費用

- ・コミュニティ助成事業による自治会館及び集会所の整備費用

- ・旧市立病院跡地に係る不動産鑑定委託料

- ・二階堂地区浸水対策に係る基本設計業務委託等に伴う増額補正

#### ○歳入の主な内容

- ・国庫支出金

- ・県支出金

等

- ・基金繰入金

- ・繰越金及び市債

等

#### 意見・要望事項

- ・JR柳本駅舎改修にかかわって地元住民の要望をしっかりと内容に盛り込み、完成してからの駅舎管理の対応についても協議するよう要望。

### 税賦課徴収条例等の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人の市民税の基礎控除等の見直し、生産性向上特別措置法の規定により市町村が主体的に作成した計画に基づき行われた中小企業の一定の設備投資に対する固定資産税の特例措置の創設及びたばこ税の税率の引き上げ等の見直しに伴い、所要の改正をしようとするもの。

詳細は

天理市のホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください



## 議会へのご意見をお寄せください

市内12か所の公民館（東部・祝徳・丹波市・前栽・井戸堂・二階堂・朝和・樺本・柳本・式上・福住・山田）に「議会意見箱」を設置しています。議会活動に役立てるため、皆さんの声を聞かせてください。



# その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

## ●荻原副委員長

**Q** 住民自治を保障する住民投票・自治基本条例の制定が必要である。

**A** 市政に市民の参画は重要で、市民と協働によるまちづくりをすすめている。条例制定の予定はない。

(総合政策課長)

**Q** 公民館運営において、社会教育主事の資格取得、分館との連携、文化教室回数増、教室生は10年で退会となっているが見直しは。

**A** 社会教育主事の資格取得機会は設けたい。分館の活用は検討したい。教室は自主的に9回以上開催できる。10年後はクラブとして継続という考え。(市民協働推進課長)

**Q** 避難所、福祉避難所運営マニュアル、地区防災計画、防災士研修制度が必要である。

**A** 避難所運営マニュアルは作成したい。地区防災計画は地域から相談があれば協力し

たい。防災士育成の援助に努めたい。(防災安全課長)

## ●加藤委員

**Q** 運転免許の自主返納について、運転免許を持っていない高齢者への交通対策は。

**A** 運転免許を自主返納された方には、公共交通の確保が絶対必要となるため、一定の代替的な足の確保を整備していく必要があると考えている。(副市長)

## ●堀田委員

**Q** 天理市における「所有者不明土地」の実態把握の現状は。

**A** 山林を除いた66筆の土地が存在。様々な理由により、現状では全体の「所有者不明土地」の把握はできていない。

(総務部次長)

**要望** 「課税保留地調査」は増収増や土地の有効利用にも繋がるので、今後政府の特別

措置法による土地収用法の特例、手続きの簡素化、「利用権」等を活用した「所有者不明土地」の活用を検討していただきたい。

## ●鳥山委員

**Q** 昨年は、「コフン」での怪我が多かったと聞くがその対応策は。

**A** 注意書きによる注意喚起と防犯カメラ設置で見守り、最大限の注意を払っている。施設に責任のある場合に対応できるよう、傷害保険にも加入した。(総合政策課付課長)

**Q** 各事業のPR等を「コフン」の大きなビジョンを活用してできないか。

**A** ライオンズクラブの寄贈であり、現在は活用に市の規制があるが、できるだけ発信できる仕組みを検討したい。

(副市長・総合政策課付課長)

**Q** 市の臨時職員の人数は未公表だが、今後知らせては。

**A** 臨時職員の人数等、今後「町から町へ」等最善の方法で知らせるよう検討していきたい。(人事課長)





市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。

その主な内容をお伝えします。(10～13P)

# こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。 [天理市のホームページ](#) ▶ [天理市議会](#) ▶ [議会中継](#) (動画) ・ [会議録の検索と閲覧](#)

## 一般質問

荻原 文明 議員

- ・子どもの権利条例等について

- ・歴史文化基本構想等について

- ・障がい者施策等について

- ・保育所の待機児童等について

- ・小中学校の少人数学級等について

- ・天理市6次産業立地等について

- ・保険者医療データによる保健医療施策の推進等について

仲西 敏 議員

- ・防災対策
- ・公共交通

寺井 正則 議員

- ・改正バリアフリー法について

- ・豪雨対策について
- ・中小企業の設備投資を促す制度について

鳥山 淳一 議員

- ・市の更なる発展に向けて

今西 康世 議員

- ・これからの公民館について
- ・高齢になっても安心して住めるまちづくりについて

市本 貴志 議員

- ・市政の運営と取り組みについて

※一般質問の要旨については、発言した議員が原案を作成しています

## 子どもの権利条例の制定を！

荻原 文明 議員



一括質問

子どもの権利条例制定を

- Q 子どもの施策をより総合的に充実させるため子どもの権利条例制定が必要である。

- A 条例制定に向けて、学校等への影響も考慮しながら検討したい。(市長)

歴史文化基本構想の作成を

- Q 最近の調査結果の成果を踏まえて、総合的保存活用を図る必要がある。

- A 将来的に充実した歴史文化基本構想策定の環境整備を図りたい。(市長)

障がいの「65歳の壁」

- Q 障がい者福祉制度利用者が、65歳になると介護保険制度に移行される。この「65歳の壁」問題解消を。

- A 本市単独での対応は難しく厚労省の通知に基づき県、県内市町村と議論を行う必要がある課題である。(市長)

保育所の待機児童解消を

- Q 空き公有地を活用し、保

育所の新增設を検討しては。

- A 厳しい財政のもと公立での設置は困難。待機児童対策として小規模保育事業所の展開を検討している。(市長)

30人学級の実施を

- Q 35人以下学級を実施するには4人の教員配置で実施できる。市単独で実施を。

- A きめ細やかな指導の一層の充実のため30人35人と少人数授業の拡充を国、県に要望したい。(教育長)

農業振興は家族経営を単位に

- Q 市6次産業立地計画は、規模の小さいところから共同化を進めていく必要がある。

- A 後継者不足と耕作放棄地による農業衰退が懸念されている。立地計画事業の具体化は地元や地権者の意思疎通を図り、公平性、透明性、客観性を十分保ち検討する。(市長)



昨年の水害を教訓に、防災体制を強化。二階堂の防災拠点は地元と協議する。

仲西 敏 議員



一問一答

防災対策

Q 昨年の災害対策の教訓

A 台風到来時、公民館以外の指定避難所の開設と、区長への情報伝達が一部出来なかった。防災体制を見直し、災害警戒本部を設置。職員を増員。  
(市長)

Q 業務継続計画の活用は。

A 点検等を行い業務の継続体制の向上に努める。  
(市長)

Q 自主防災組織

A 地域防災力の強化に自主防災組織が重要な役割を果たしている。  
(市長)

Q 避難所の運営は。

A 避難所は、地域主体の運営が必要。避難所運営のマニュアルを今年度中に策定する。今年度予定している前栽校区での市の防災訓練では、避難行動要支援者名簿を使い安否確認を住民で行う予定。  
(市長)

Q 防災拠点（二階堂校区）

A 二階堂校区の防災時の拠点のあり方は、二階堂校区浸水対策プロジェクト会議を中心に校区と協議する。  
(市長)

Q 公共交通の現状と課題は。

A 昨年度のコミュニケーションバスの乗降数は1万5512名。デマンドタクシーは4111名。利用者が共に増加。高齢化で交通不便者等が増加。  
(市長)

Q 地域公共交通網形成計画の策定は。

A 市民のニーズを把握して、平成31年度当初までに公布したい。  
(市長)

Q 名阪側道や市道北大路線の開通に伴う、コミュニティバスの新たな運行を。

A 地域公共交通網形成計画等と併せて検討。  
(市長)



まちの安心・安全対策と、中小企業の活性化対策！

寺井 正則 議員



一問一答

改正バリアフリー法

Q 本市のバリアフリーの現状と、「マスタープラン（基本計画）」の策定については。

A 市道や市管理の各施設のバリアフリー化が着実に進んでいる中で、国道・県道や病院・学校等の公共施設、また、各公共交通機関の整備の状況を見据えながら、本年10月から創設されるマスタープラン制度の活用に向けて情報を収集し、検討を進めていきたい。  
(市長)

豪雨対策

Q 豪雨による土砂や流木の被害想定についての認識と、浸水対策の現状は。

A 市民に土砂災害警戒区域を周知するため、「天理市総合防災マップ」を配布している。また、現在、奈良県では「土砂災害特別警戒区域」の指定を行っており、本市もすでに園原町、竹之内町が県の土砂

災害特別警戒区域に指定されており、平成31年度までに東部山間エリアなど、その他の地域についても順次指定される予定である。今後も、行政と地域との連携はもとより、国・県、消防、警察、気象台などの行政間での連絡体制をさらに整え、浸水対策をはじめとする防災対策の充実に努めたいと考えている。  
(市長)

Q 積極的に制度の活用推進を図るべきと考えるが。

A 中小の事業者の経営基盤の強化のため、商工会等としっかりと連携し、特に良い活用事例などは積極的に市ホームページ、広報誌等でも伝えるなど、制度の活用推進を図りたい。  
(市長)





一問一答

Q 平成26年に地域と共にある学校づくりを目指し、地域パートナーシップがスタートしたが、現状と課題は。

A 地域と学校が連携し、地域教育力の向上、活性化ができてきた。今年度は、地域学校協働本部をさらに整備し、活動の一層の推進を図る。

Q 法律改正で学校運営協議会の設置が努力義務になった。本市はどう進めるのか。

A 2年後に全小中学校で学校運営協議会が設置できるよう、コミュニティ・スクール導入会議を設置し、導入に向けた課題を検討する。

(教育長)

要望 学校現場で英語教育、道徳、と大変革がある。さらなる学校支援をお願いする。

Q 農産業振興に向け、農地中間管理機構が立ち上げられたが、本市の農地バンク活用

の現状は。

A 制度の周知と推進により、本市では、昨年度36件適合があった。今年度は、4名の方が新規に就労し、ブドウ、トマト、イチゴを栽培予定。

(環境経済部長)

Q 読売新聞奈良版で本市認知症改善の取り組みが賞賛されているが、この成果をどのように広げていくか。

A 慶応義塾大学・公文学習療法センターと連携し活脳教室を実施した。来年度以降は、公民館等も活用し、市内全域での実施を目指す。

(市長)

Q 認知症サポーターの方の活用状況は。

A 養成者総数が小中学生から高齢者まで4400名を超える。見守りや買い物支援等に活躍いただける場を設けた。

(市長)



高齢者見守り巡回バス空白路線の運行を！！



一括質問

これからの公民館について

Q 学びを支える社会教育関係職員の専門性と現状は。また講習や研修は。

A 公民館には社会教育主事の有資格者を配置するのが理想。現在公民館全体で1名配置。資格取得の機会を設け、各種事業への提案等を進めていきたいと考える。

(市長)

Q 地域住民が公民館での学びを通して自分づくりやまちづくりをデザインする方法、また地域の住民間の絆を築いていく施設となるためには、どのような取り組みや考え方をしていくのか。

A 4月より事務執行の一部を市長部局に移したことから、市が行っている地域活性化事業等との連携を一層強化し、地域課題解決にむけた取組を充実させたい。

(市長)

Q 居住支援・低所得高齢者等の住まいの確保は。

A 県でも新たなセーフティネット制度に基づく住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度があり連携していく。引き続き居住支援を組み合わせ、安心して住めるまちづくりを進めていきたい。

(市長)

Q 本市の高齢者の移動支援に対する考えは。地域高齢者見守り巡回バスの空白路線でのバス等の運行について、どのように考えるか。

A 高齢者の自動車事故増加や運転免許の自主返納推進等から自宅近くに公共交通機関を持つておられない高齢者の移動手段確保のための支援は、本市にとって喫緊の課題である。地域公共交通活性化協議会等で議論していく。

(市長)





一問一答

市政の取り組みと、将来展望

**Q** 市の徴収業務の課題と対策について、どう考えるか。

**A** 職員のさらなるスキルアップを図っており、延滞金の徴収にも力を入れると共に、滞納金を確実に徴収することにより、新たな滞納を増やさないよう努めていく。

**Q** 公共施設の有効活用と具體的な計画は。

**A** 将来的な活用計画がない場合には、貸し付けや売却処分等により、市の財源確保や維持管理経費の節減を図っており、今後も市有財産の有効活用を努めていく。

(市長公室長)

**Q** 財政健全化に向けた取り組み、将来展望について、所見は。

**A** あらゆる既存事業を洗い出し、政策効果の薄れた事業の統廃合を行うほか、長年見

直されてこなかった事業や費用対効果の薄い事業の見直しも図っていきたい。人件費等の抑制策としては、市職員のワーク・ライフ・バランスを踏まえて、時間外勤務の縮減を図ること、また、組織機構の見直しにより、スリム化、効率化を図り、人件費の削減につなげる方法も模索をしていかなければならないと考えている。

(市長)

**Q** 第6次総合計画の策定についての所見は。

**A** 市の最上位計画である「総合計画」と地方創生に向けて取り組んできた「総合戦略」の計画期間が同時期に終了することから、「総合計画」と「総合戦略」の2つを統合して効率的で実効性のある計画を策定して参りたいと考えている。

(市長公室長)



こんなことが決まりました

全員賛成で可決した議案

- 報告** ・29年度繰越明許費繰越計算書 ・29年度水道事業会計予算繰越計算書  
 ・29年度下水道事業会計予算繰越計算書 ・出資法人の経営状況の報告について  
 ・損害賠償の専決処分報告について
- 同意案** ・公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案** ・30年度一般会計補正予算 ・税賦課徴収条例等の一部改正について  
 ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
 ・重度心身障害老人等医療費助成条例の一部改正について ・介護保険条例の一部改正について  
 ・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について  
 ・ラブホテル建築等規制条例の一部改正について
- 決議案** ・ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書について

意見が分かれた議案

**発議案** ・第2号 市議会委員会条例の一部改正について

会派	創生			清風							無会派			結果					
議員	鳥山	仲西	今西	飯田	堀田	廣井	三橋	市本	東田	内田	大橋	中西	加藤嘉久次	岡部	榎堀	寺井	荻原	石津	結果
議案	淳一	敏	康世	和男	佳照	洋司	保長	貴志	匡弘	智之	基之	一喜	嘉久次	哲雄	秀樹	正則	文明	雅患	
発議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	○	可決

賛成…○・反対…×

※議長は表決に加わりません

反対討論

荻原議員：委員会定数を6人にする委員の重複所属が必要となります。正副議長を重複所属させるという申し合わせ事項改正案が提案されました。「議員平等の原則」の会議原則があり特定の議員に複数所属を認めるべきではありません。所管別常任委員会は2委員会とし、全議員による予算決算常任委員会を設置し審議の充実と効率化を図ることができそうです。

# 議会活動報告

## 文教厚生委員会

### 柳本幼稚園・山の辺小学校を現場視察

5月末に終了した柳本幼稚園園舎耐震補強工事・山の辺小学校屋内運動場改修工事について、文教厚生委員会終了後、両施設の現地視察を行いました。耐震補強された施設で、子どもたちが安心して、元気に学んでくれることを願うものです。



## 天理市水害対策委員会

昨年12月の設置以来、水害対策について継続して議論を行っており、6月28日に第5回委員会を開催しました。



## 議会改革推進委員会

7月17日に第9回議会改革推進委員会を開催しました。これまでも、「議員定数」「議会組織運営」について議論を行ってききましたが、今回から「政務活動費」について、改めて議論を行っています。



# 委員会先進地視察

## ●経済産業委員会(8月1日~3日)

「まち歩き観光長崎さるく事業」(長崎県長崎市)、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録への取り組み」(熊本県天草市)、「熊本地震による観光への影響と今後の取り組み」(熊本県熊本市)について委員会視察を行いました。



▲長崎市：出島復元場所にて

▼天草市：崎津集落にて



▲熊本市：視察の様子



▲現熊本城

## ●議会運営委員会(8月7日~8日)

「議会改革」(石川県加賀市)、「議会だよりの編集・議会報告会・意見交換会」(石川県白山市)について委員会視察を行いました。



▲加賀市：議場にて



▲白山市：視察の様子

## 意見書

### ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など外見からは容易に判断が難しいハンディのある方が、周囲に援助や配慮が必要であることを知らせるヘルプマークおよびそのマークを配したヘルプカードについては、平成24年に作成・配布を開始した東京都をはじめ、導入を検討・開始している自治体が増えている。特に昨年7月に、ヘルプマークが日本工業規格(JIS)として制定され、国としての統一的な規格となってからは、その流れが全国へと広がっている。

このヘルプマークおよびヘルプカードについては、援助や配慮を必要とする方が所持・携帯していることはもちろんのこと、周囲でそのマークを見た人が理解していないと意味を持たないため、今後は、その意味を広く国民全体に周知し、思いやりのある行動をさらに進めていくことが重要となる。

しかし、国民全体における認知度はいまだ低い状況にある。また公共交通機関へのヘルプマークの導入など課題も浮き彫りになってきているところである。

よって政府においては、心のバリアフリーであるヘルプマーク及びヘルプカードのさらなる普及推進を図るため、下記の事項について取り組むことを強く求める。

記

1. 「心のバリアフリー推進事業」など、自治体が行うヘルプマークおよびヘルプカードの普及や理解促進の取組みに対しての財政的な支援を今後も充実させること。
2. 関係省庁のホームページや公共広告の活用など、国民へのさらなる情報提供や普及、理解促進を図ること。
3. 鉄道事業者など自治体を越境している公共交通機関では、ヘルプマーク導入の連携が難しい状況にあるため、今後はスムーズな導入が図れるよう国としての指針を示すこと。

◎意見書は、議会の考えや意思を表明するため、内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。

# 平成30年第3回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

- 9月3日(月)
  - 9時30分 議会運営委員会
  - 11時00分 本会議開会
- 9月5日(水)
  - 9時30分 議会運営委員会
  - 11時00分 本会議再開
- 9月7日(金) 9時30分 文教厚生委員会
- 9月10日(月) 9時30分 経済産業委員会
- 9月11日(火) 9時30分 総務財政委員会
- 9月12日(水) 9時30分 決算特別委員会
- 9月13日(木) 9時30分 決算特別委員会
- 9月18日(火)
  - 9時00分 議会運営委員会
  - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 9月19日(水)
  - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 9月21日(金)
  - 9時30分 議会運営委員会
  - 11時00分 本会議再開

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	本会議 11:00		本会議 11:00		文教 9:30	
9	10	11	12	13	14	15
	経済 9:30	総務 9:30	決算 9:30	決算 9:30		
16	17	18	19	20	21	22
		本会議 10:00	本会議 10:00		本会議 11:00	
23/30	24	25	26	27	28	29
		(会期)				

※会 期= 9月25日(火)までの23日間

## 議会をスマートフォンで見られます

本会議のライブ中継及び録画中継を、  
天理市ホームページからご覧いただけます。  
またお手持ちのスマートフォンからもご覧いただける  
ようになりました。  
右のQRコードからアクセスしてご利用ください。



## 議会広報編集委員会

- |     |      |      |      |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 飯田和男 | 副委員長 | 内田智之 |
| 委員  | 市本貴志 | 委員   | 中西一喜 |
| 委員  | 石津雅恵 | 委員   | 鳥山淳一 |